



問

上下水道部局職員2名の詐欺・収賄について問う

令和7年1月23日に職員が詐欺容疑で逮捕され、2月12日には収賄容疑で再逮捕されるという、あってはならない事態に発展している。その後、上下水道部局は「業務改善の取組」を取りまとめ、研修の実施やコンプライアンス責任者の配置等の改善案を示したが、これで改善されるのか不安を感じる。この取り組みは形骸化しないのか。また、コンプライアンスの徹底は実現できるのか。

答

新たな組織体制でコンプライアンスの徹底に努めていく

新たな組織体制や業務内容の改善に当たっては、新たな体制での業務執行について事前に確認も行っており、人事配置についても上下水道部局と人事部局との間で調整を行っている。

また、コンプライアンス責任者には、所属長を充てる方向で進めており、その業務としては、各所属におけるコンプライアンス推進のための研修および助言を行うことなどを予定している。所属長として部下の業務状況を把握して管理するだけでなく、部下と風通し良く会話をしていくことで、コンプライアンスの徹底に努めていく。

その他の質疑・質問

- こどもまんなか社会実現会議について
- 産前・子育て応援ヘルパー派遣事業について
- こども誰でも通園制度試行的実施について
- 子育て世帯移住促進空き家活用助成事業について
- 母子健康情報のデジタル化について
- 公園整備について

など

千葉県市原市など、既に母子健康手帳アプリを導入している自治体がある



問

子どもの変化を見つけられる授業を

子どもたちが主体的に学ぶ授業では、教師が授業の最初に課題を与え、子どもたちはグループになったりタブレットを使ったりしながら学び合っているが、保護者からは教師が何も教えていないように見えるのではないのか。

また、どの地域でも同じ学びが必要と考えるが、大規模校でも小規模校でも同じような学び合いができるのか。

答

子どもたちをしっかりと見て支援、指導していく

教師は、子ども自身が選択した学び方、方法、誰と学んでいるか、孤立していないかといったことをしっかりと見て、必要であれば子ども同士をつなぐなどの対応を取るため、今まで以上にタイミングを見逃さずにしっかりと支援、指導していくことが必要になってくる。

小規模校では子どもたちの人数が少なく、誰と学べるかという選択肢が限られてくるが、異学年や他校の子どもたちとの交流などから学んでいくことも考えられ、また、教師が一人一人の学習状況や学習内容の定着状況をしっかりと把握できるというメリットもあると考える。

その他の質疑・質問

- 報告第1号および2号 専決処分の報告について
- 議案第17号 工事請負契約について
- 議案第29号 令和7年度津市一般会計予算
- 地域おこし協力隊事業について
- 「こどもまんなか社会実現会議」について
- エリアプラットフォームについて
- 学校施設長寿命化等改修事業について

「子どもが主体的に学ぶ授業」で、子どもたちが学び合える学校環境の構築を

